

令和4年度 予算(案)のポイント



「働くまち」から 「働いて暮らすまち」へ



市制 50 周年記念事業 遠州新居手筒花火記念披露



令和4年2月
湖 西 市

1. 予算編成の基本姿勢と概要

令和4年度予算は、引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の徹底を図りながら、ポストコロナを見据え、社会経済活動の両立を図るため、更なる『職住近接』による持続可能な発展に向け、

1. 安全・安心、医療、福祉
2. 結婚、出産、子育て、教育
3. 産業
4. 交流

の4本の柱に加え、横断的施策として「カーボンニュートラルやDXの推進」を着実に推進します。

さらに、中長期の施策である「モノづくり人材育成・産業ネットワークの構築」と「土地利活用の推進」も並行して進めます。

重点施策として、子どもを安心して生み、子育てできる環境づくりを推進するため、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を積極的に実施します。

また、湖西市の屋台骨であるモノづくり産業の発展、その礎となる人づくりに向け、20年後、50年後の未来の湖西を見据え、市制50周年を機に新たに「佐吉の郷・スタートアップ支援事業」を創設し、第2の佐吉を目指す人材の育成や企業の支援に取り組んでいきます。

一般会計 R4 : 248.8 億円（過去最大） R3 : 216.2 億円

(+32.6 億円・+15.1%)

予算総額 R4 : 439.4 億円 R3 : 404.3 億円

(+35.1 億円・+8.7%)



本市は、企業活動が活発で地域の稼ぐ力は強いものの、市外からの通勤者が多く、市外への所得流出が大きい構造となっていますので、昼夜間人口の差の解消を目指し、移住・定住の促進を継続して重点的に行っています。

＜＜参考＞＞ 将来を見据えた財源確保

○限られた財源を有効活用

残高を意識した財政調整基金の繰り入れ

繰入額：R3：当初 12.0 億円 → R4：13.2 億円（+1.2 億円）

残高見込：R2 末：36.4 億円 → R3 末：36.5 億円 → R4 末：28.3 億円

○市債（借金）の活用と抑制

大型建設事業に対応するため市債を発行

発行予定：R3：当初 10.5 億円（最終 17.1 億円）→ R4：22.7 億円（+12.2 億円）

残高見込：R3 末：174.2 億円 → R4 末：185.1 億円（+10.9 億円）

目玉事業



市制 50 周年記念事業（戦略③・④）

3,859 万円

令和4年1月に市制 50 周年を迎え、継続的かつ更なる持続可能な未来につながる記念事業を行います。

また、50 周年を契機として、「佐吉の郷・スタートアップ支援事業」による創業支援や「地域おこし協力隊」によるご当地グルメプロジェクト(地場製品のブランド化)、地域イベントの PR など、市の魅力を創造・発信し、地域活性化を図ります。



子育て支援の拡充（戦略②）

1 億 6,843 万円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援により、子どもを安心して生み、子育てできる環境づくりを推進します。具体的には、①ワンストップ相談窓口機能の充実、②マタニティタクシー利用の助成制度を新設、③LINE を活用した子育てに役立つ情報のプッシュ型配信、④保育料の引き下げや多子世帯への減免の年齢拡大、⑤放課後児童クラブの増設、などを行います。



ゼロカーボンシティの実現に向けて（横断的施策①）

2,138 万円

湖西市版ゼロカーボンシティの実現のため、省エネルギー化に向けた診断・分析を行う中小企業への支援や再生可能エネルギーの普及促進、行政におけるゼロカーボン化を推進し、CO₂排出量の削減を図ります。

環境と産業の持続可能な未来を実現する

湖西市版 ゼロカーボンシティ宣言

- ①省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及
住宅等の省エネ化の推奨、太陽光発電等の普及
- ②「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援
太陽光発電導入等の推進、脱炭素経営への支援
- ③オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発
ゼロカーボン講座やイベント、環境学習の開催
- ④行政におけるゼロカーボン化の推進
・地域マイクログリッドの構築 ・公用車の次世代自動車化、太陽光発電等の導入

モノづくり人材育成・産業ネットワークの構築（戦略③）

517 万円

モノづくりのまち・湖西市の産業を持続的に発展させていくため、指針となるモノづくり産業振興計画(仮称)を策定します。同時に、事業承継や人手不足のほか、カーボンニュートラルや EV 化など、一企業のみでは解決困難な課題に対して、商工会、職業訓練センター、行政、関係団体などが連携して体系的に支援を行ったり、企業間のマッチングなどを行う「モノづくり産業ネットワーク」の構築を進めていきます。

湖西市モノづくり産業ネットワーク(イメージ)



土地利活用の一体的推進（戦略③）

6,674 万円

「職住近接」に向け、土地の利活用を一体的に推進します。具体的には、①「浜松湖西豊橋道路」で市内に計画されるインターチェンジ付近の開発の検討、②新たな工業用地などのニーズに対応するため、開発可能性調査の実施、③民間宅地開発を促進するため、土地提供者及び事業者への奨励金制度の継続、などを行います。



令和4年度の重点施策

戦略① 安全・安心、医療、福祉

項目	主な内容	予算額	所管
1 新型コロナウイルス対策	地域外来・検査センターでのPCR検査やワクチン接種の実施、及び自宅療養者等に対する食料品等の支援を行います。 また、保育所等の感染症防止対策や中小企業に対する利子補給を引き続き行います。	4億125万円	健康増進課 幼児教育課 産業振興課
2 津波防災対策	津波への対策として、海釣り公園防潮堤の整備及び津波防災地域づくり推進計画の策定を進めます。 また、高師山津波避難タワーの完成により、津波避難施設空白区域が解消されたことに伴い、ハザードマップを更新します。	6,208万円	危機管理課
3 BaaS事業とデマンド型乗合タクシー	市内企業が運行するシャトルバスに市民も乗車する「湖西市BaaS事業」について、令和3年度に導入したLINEを活用した予約システムに加え、音声自動認識による電話予約サービスを導入するなど機能を拡充します。 また、デマンド型乗合タクシー（コーちゃんタクシー）の運行地域を拡大します。	2,402万円	産業振興課



湖西市企業シャトルBaaS乗車の仕組み



項目		主な内容	予算額	所管
4	環境センターの再稼働とアメニティプラザ余熱利用	ごみ焼却施設の再稼働工事とリサイクルプラザの長寿命化工事を行います。 また、再稼働工事に併せて、ごみ焼却の余熱を、隣接するアメニティプラザの温水プール等に利用できるようにします。	33 億 6,989 万円	廃棄物対策課
5	畜産臭気対策	すべての畜産事業者において、悪臭の発生源を調査し、その結果をもとに、改善策の実施につなげていきます。	1,323 万円	環境課 産業振興課
6	(仮称)消防防災センターの建設に向けて	消防本部の庁舎の老朽化が進んでいるため、新たに(仮称)消防防災センターの建設を進めていきます。併せて、防災機能の充実強化を図るため、防災センター機能等と複合化します。	7,065 万円	消防総務課

環境センター



高師山津波避難タワー

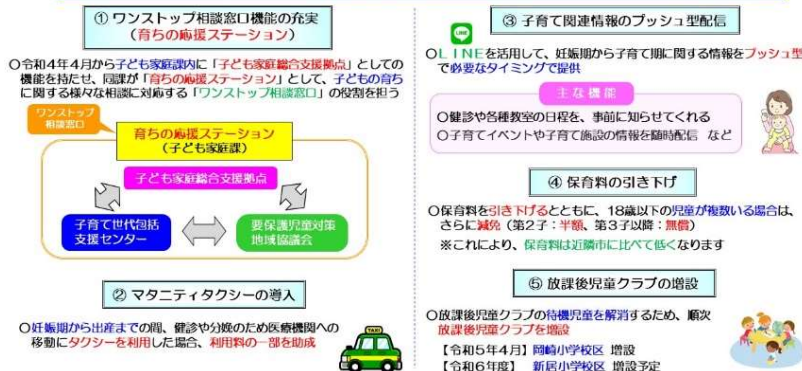


戦略② 結婚、出産、子育て、教育

項目	主な内容	予算額	所管
＜子育て支援施策＞		1 億 6,843 万円	
1	ワンストップ相談窓口機能の充実 子ども家庭課内に「子ども家庭総合支援拠点」としての機能を持たせ、「育ちの応援ステーション」として、子どもの育ちに関する様々な相談に対応する「ワンストップ相談窓口」を充実させます。	—	子ども家庭課
2	マタニティタクシーの導入 妊婦が健診や分娩のため、医療機関への交通手段としてタクシーを利用した費用の一部を助成する制度(マタニティタクシー)を新設します。	9 万円	子ども家庭課
3	子育て関連情報のプッシュ型配信 スマホなどで健診や子育て教室の日時など、子育てに役立つ情報を受け取れるよう、LINE による情報発信を行います。	—	子ども家庭課
4	保育料の引き下げ 保育料を引き下げるとともに、多子世帯への減免の年齢拡大を行います。	952 万円	幼児教育課
5	放課後児童クラブの増設 岡崎小学校区において、令和5年度に、放課後児童クラブを2単位増設するための工事をを行います。 また、新居小学校区においては、令和6年度に放課後児童クラブ2単位の増設に向け、順次進めていきます。	1 億 5,882 万円	教育総務課
＜子育て支援以外の施策＞			
6	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入 性の多様性に寄り添った取組の推進として、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始します。	—	市民課
7	給食センターの整備に向けて 安全・安心でおいしい給食を安定的に提供できる給食センター整備のため、事業者の公募や候補地の地質調査・測量を行います。	3,960 万円	教育総務課
8	教育施設の環境整備 児童・生徒が安全・安心で快適な教育環境で学習できるよう、岡崎中学校天井落下対策や鷺津中学校長寿命化、新居小学校トイレ洋式化などを順次進めていきます。	6,370 万円	教育総務課

子育てにやさしいまちづくりの推進

妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援により、子どもを安心して生み、子育てできる環境づくりを推進



戦略③ 産業

項目	主な内容	予算額	所管
1 モノづくり人材育成・産業ネットワークの構築	モノづくりのまち・湖西市の産業を持続的に発展させていくため、指針となるモノづくり産業振興計画(仮称)を策定します。同時に、事業承継や人手不足のほか、カーボンニュートラルやEV化など、一企業のみでは解決困難な課題に対して、商工会、職業訓練センター、行政、関係団体などが連携して体系的に支援を行ったり、企業間のマッチングなどを行う「モノづくり産業ネットワーク」の構築を進めています。	517 万円	産業振興課
2 佐吉の郷・スタートアップ支援事業	豊田佐吉翁のふるさととして、創業支援を拡充します。具体的には、空き店舗等を活用した創業支援に加え、創業・新事業のためのクラウドファンディングに係る利用手数料の一部を補助する制度を新たに開始します。	732 万円	産業振興課
3 土地利活用の一体的推進	「職住近接」に向け、土地の利活用を一体的に推進します。具体的には、①「浜松湖西豊橋道路」で市内に計画されるインターチェンジ付近の開発の検討、②新たな工業用地などのニーズに対応するため、開発可能性調査の実施③民間宅地開発を促進するため、土地提供者及び事業者への奨励金制度の継続、などを行います。	6,674 万円	都市計画課
4 浜名湖西岸土地区画整理事業及び大倉戸茶屋松線整備の推進	雇用の創出や産業の振興のため、新たな工業団地を造成し、そのアクセス道路となる大倉戸茶屋松線の整備を進めます。	5 億 7,963 万円	都市計画課 土木課

湖西市モノづくり産業ネットワーク(イメージ)



浜名湖西岸土地区画整理事業・大倉戸茶屋松線整備事業
(令和4年1月時点)



戦略④ 交流

項目		主な内容	予算額	所管
1	市制 50 周年記念事業	令和4年1月に市制 50 周年を迎え、継続的かつ更なる持続可能な未来につながる記念事業を行います。	2,770 万円	企画政策課
2	新居弁天地域利活用事業	新居弁天公園を年間通じて更なる賑わいが生まれる地域とし、市の観光ブランド力を強化するため、公募により選定された事業者と連携し、利活用を進めていきます。	—	文化観光課
3	新居地域センターのリニューアル	文化芸術、社会教育、自治活動等の振興を図るため、バリアフリー化を含め利用しやすい施設となるよう改修を進めます。	2,514 万円	新居支所
4	地域おこし協力隊の活用	市制 50 周年を契機として、ご当地グルメプロジェクト(地場産品のブランド化)や地域イベントの PR など、市の魅力創造・発信による地域活性化を図るため、「地域おこし協力隊」を活用します。	357 万円	企画政策課
5	みらいのこさい提案制度の拡充	持続可能なまちづくりのため、地元の市民・企業と行政が連携して、地域課題の解決に向けた取り組みを強化します。	50 万円	企画政策課



新居弁天地域利活用



横断的施策① ゼロカーボンシティの実現に向けて

環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと「職住近接」を実現するため、湖西市版ゼロカーボンシティを目指します。

項目	主な内容	予算額	所管
1 省エネルギー化に向けた中小企業支援	中小企業者等の省エネルギー化推進のため、省エネルギー診断・分析に要した費用を助成する制度を新設するとともに、さらなる支援策の拡充を検討していきます。	32 万円	環境課
2 地球温暖化対策	環境と産業の持続可能な未来を実現するため、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定します。 また、CO ₂ 削減のため、環境教育（アースキッズ）や緑化のための事業などを行います。	1,145 万円	環境課
3 環境にやさしいエネルギーの普及	家庭用蓄電池、家庭用コージェネレーションシステム、低公害車（電気自動車など）に加え、V2H（電気自動車に蓄えた電気を家庭で利用するシステム）の導入者に対する助成を新設し、CO ₂ 排出量の削減を図ります。	500 万円	環境課
4 行政におけるゼロカーボン化の推進	既存の公共施設、及び今後新設する公共施設において、再生可能エネルギー設備の導入を積極的に検討します。 また、公用車への電気自動車の導入、及び新居図書館や勤労者体育センターなどの公共施設で、既存の照明をLED化し、省エネルギー化に取り組みます。	461 万円	環境課 資産経営課
合 計		2,138 万円	—

環境と産業の持続可能な未来を実現する

湖西市版 ゼロカーボンシティ宣言

①省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及

住宅等の省エネ化の推奨、太陽光発電等の普及

②「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援

太陽光発電導入等の推進、脱炭素経営への支援

③オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発

ゼロカーボン講座やイベント、環境学習の開催

④行政におけるゼロカーボン化の推進

・地域マイクログリッドの構築 ・公用車の次世代自動車化、太陽光発電等の導入



横断的施策② DXの推進

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進により、今後の社会変革への対応や人口減少対策、産業の活性化などの地域課題の解決を図り、「職住近接」の実現と持続可能なまちづくりを目指します。

項目		主な内容	予算額	所管
1	GIGAスクール構想の推進	1人1台のタブレット端末を活用し、新しい生活様式に対応した授業を目指すとともに、学校・家庭での活用環境の整備を行います。	6,499 万円	教育総務課
2	学校・保護者間における連絡用アプリの導入	保護者がいつでもどこでもスマホなどで学校からのお知らせを受け取ったり、学校へ欠席の連絡をしたりできるよう、連絡用アプリを導入します。	121 万円	教育総務課
3	電子書籍の貸し出し	スマホやパソコンで電子書籍を借りて読むことができるサービスを導入します。	1,097 万円	図書館
4	シティプロモーション等におけるデジタル技術の活用	デジタルコンテンツ(ウェブページ、動画など)を強化し、デジタル広告等によりコンテンツへの誘導を図ることで、市内外における市のイメージ向上や、市外における認知度の向上を図り、移住定住促進、観光交流客数増加、市民の愛着の醸成などにつなげていきます。	180 万円	秘書広報課
5	行政手続きのオンライン化推進	いつでも、どこからでも行政手続きができるよう、マイナンバーカードによる本人確認に対応した電子申請システムを導入することで、行政手続きのオンライン化を推進します。	214 万円	DX 推進課
6	地図情報のインターネット公開	湖西市への移住・定住を考える人や事業者が必要な情報を入手できるよう、都市計画や道路など、市で保有する地図情報をインターネット上で公開します。	337 万円	DX 推進課
7	キャッシュレス決済の推進	各種証明書等の支払いや市税、国民健康保険税、市営住宅使用料、上下水道使用料について、スマホアプリで読み込んで納付するキャッシュレス決済に加え、令和4年度から、上下水道使用料について、クレジットカードによる納付もできるようにします。	224 万円	税務課 水道課 市民課
8	デジタルデバйд対策の充実	高齢者などを対象としたスマホ教室や出前講座などを実施し、誰一人取り残さない人に優しいデジタル化を目指します。	14 万円	DX 推進課

9	BaaS 事業	市内企業が運行するシャトルバスに市民も乗車する「湖西市 BaaS 事業」について、令和 3 年度に導入した LINE を活用した予約システムに加え、音声自動認識による電話予約サービスを導入するなど機能を拡充します。	1,200 万円	産業振興課
10	AI・RPA の利用促進	音声認識技術による議事録等の作成や、紙資料をデータ化する文字認識技術を導入し、業務のRPA化を一層促進することで、作業時間の短縮やミスの防止に努め、業務改善を図ります。	392 万円	DX 推進課
11	その他の DX 推進事業	公共施設における Wi-Fi の導入や市役所内のペーパーレス化推進など、市民の利便性向上と行政事務の効率化に向け、ICT 等のデジタル技術を最大限に導入、活用していきます。	2,385 万円	DX 推進課
合 計			1 億 2,663 万円	—

